



2025 年 3 月 18 日

各 位

会 社 名 シノブフーズ 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松本 崇志
(コード 2903 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員経営財務本部長
長尾 正史
(TEL. 06 - 6477 - 0113)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、2025 年 3 月 18 日開催の取締役会において、持続的な成長と中期的な企業価値向上の実現を図るため、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について当社の現状を分析し、改善に向けた今後の取り組み方針を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 現状認識と評価

連結経営指標

	2020 年 3 月期	2021 年 3 月期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期
売上高 (百万円)	52,488	45,480	48,653	51,047	54,825
経常利益 (百万円)	1,263	1,110	1,540	1,904	2,409
当期純利益 (百万円)	1,093	791	1,081	103	1,167
ROE (%)	8.9	6.1	7.9	0.7	8.1
PBR (倍)	0.62	0.57	0.57	0.61	0.84
PER (倍)	7.0	9.4	7.2	83.4	10.3

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号)等を 2022 年 3 月期の期首から適用しており、2021 年 3 月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

当社の ROE は、直近では 8% 台まで回復しておりますが、PER が低いこと PBR は 1 倍割れの状況が続いております。PER は、足元 1.0 倍まで改善しているものの依然として低位で推移しており、当社の成長性に対して期待値が低い状態であると推測しております。

今後、ROE の改善のためには、成長戦略の明確化に加えて、収益力を向上させる取り組みが重要であると認識しております。

2. 改善に向けた方針

現状評価を踏まえて、当社は次期中期経営計画に掲げる基本戦略に基づき、資本効率性を重視した経営を実践してまいります。また市場評価の向上を実現するため、SNS 等を活用して当社の活動を積極的に発信するなど IR 活動の強化に努めてまいります。

3. 具体的な取り組み

当社グループは、「良品づくり」を基礎とし、3 温度帯(定温、チルド、冷凍)へ対応した生産体制を整えるとともに、独自の製法や内製化により新たな価値を創出し、シェアの拡大を図ります。また冷凍事業では、日本の美味しさを世界にお届けするために海外での販売を目指します。

今月5日に公表した中期経営計画（2026年3月期～2030年3月期）において、連結売上高700億円、経常利益率5.0%、ROE10.0%を目標として掲げ、4つの基本戦略、「販売戦略」「コスト戦略」「サステナビリティ戦略」「財務戦略」に基づき、目標達成に向け取り組んでまいります。

（1）販売戦略

良品を基礎とし、「製造力」「開発力」「営業力」に磨きをかけ、3温度帯の生産体制を整えるとともに海外も視野に入れた新規事業、新規市場へ挑戦してまいります。

（2）コスト戦略

良品を継続的にお届けするためにスピード感を持った原価管理、原材料高騰への柔軟な対応、機械化やデジタル化を進め、コスト削減に取り組んでまいります。

（3）サステナビリティ戦略

製品を通じた環境負荷の軽減やフードロスの削減、障がい者雇用を推進し、誰もが安心して働ける職場環境の整備、次世代を担う人財の育成にも力を注ぎ、持続的な成長を目指してまいります。

（4）財務戦略

成長事業への戦略的な投資を行い、資本コストや株価を意識した経営を目指し、収益力の強化によるROEの向上を図りつつ、株主還元も積極的に取り組んでまいります。

以 上